

令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価について

< 目次 >

- I 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価
- II 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート 概要
- III 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート 総括
- IV 令和5年度 長尾谷高等学校 学校関係者評価 概要
- V 「令和5年度 長尾谷高等学校学校関係者評価委員会」の意見

I 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価

1 めざす学校像

- (1) 一人ひとりを大切にし、自立した学びを続けられる人材を育成する
- (2) 一人ひとりの特性に配慮し、『学びの個別化』に対応した教育
- (3) AI時代に対応

2 中期的目標

1 学校運営

- (1) 教育課程
- (2) 年間を通じた教育計画の作成
- (3) 教職員間の情報共有と連携強化
- (4) 開かれた学校づくり・情報公開
- (5) 危機管理

2 教育内容・教育の課題

- (1) 情報教育
- (2) 教育体制及び重点目標
- (3) 特別活動・部活動の充実

3 生徒指導・支援

- (1) 生徒支援（学習指導・進路指導）
- (2) 生徒指導・校内巡回の充実

4 教職員研修・資質向上

- (1) 教職員研修
- (2) OJTの効果的活用

【自己評価アンケート結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [令和5年12月～令和6年1月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>・実施日 令和5年12月8日（金）～ 令和6年1月13日（土）</p> <p>・対象者 常勤教職員・在籍生徒・保護者</p> <p>【分析】 ＜教職員＞ 自己評価アンケートの回答率は100%であり、全教職員の意思が結果に反映されていると考えられる。全質問項目における肯定的回答（AとB）は96.2%であり、昨年度の回答より0.6ポイント下降したが、教職員は、本校の教育内容全般にわたって高い自己評価をしていると言える。</p> <p>特に、教科指導、特別活動、学校説明会、教職員の協力体制等の項目が高い自己評価となっており、これらは他校に比しての本校の強みと考えられる。</p> <p>一方で、情報教育、国際教育、人権教育等の項目はBの回答も多いことから、これらの点については、今後とも学校全体で組織的な改善に向けた取り組みが必要があると思われる。</p>	<p>＜学校関係者評価委員会＞</p> <p>・実施日 令和6年9月7日（土）</p> <p>・評価委員 5名</p> <p>【総括評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・新入学生徒や転入学生徒が増加するなか、さまざまな取組みを推進されていることがわかる。引き続き、生徒達のために何ができるのかを考えていただき、教育を進めていただければと思う。・通信制高校全体の志願者が増加している。事務量の増加に対して、全教職員の一致協力に対応することはもちろんのこと、「働き方改革」の観点から、教職員の負担が増加することなく対応できる組織体制の構築が必要であると考ええる。・通信制の中で生徒との関係性を高めようとされている取組みが伺える。また、教職員の充実感、教育活動への積極的に取り組む意欲と自信が伺える。今後、更なる活躍に期待したい。

<生徒>

全質問項目における肯定的回答（AとB）は90.7%である。特に特別活動の充実・プライバシー保護についての肯定的回答は100%である。肯定的回答が80%未満となった質問は、避難訓練の実施や生徒の安全についてである。避難訓練や防災学習を実施しているにも関わらずこのような結果となったのは、生徒への周知不足であると考えられる。

学校生活は楽しい・この学校で学ぶことができて良かったという質問に対しての肯定的回答は、95.2%であった。4.8%の生徒がそう思っていない状況は重く捉え、生徒の満足度向上のための改善が必要である。

<保護者>

アンケート回答生徒の保護者に回答提出いただいた。全質問項目における肯定的回答（AとB）は86.0%であり、教員や生徒より低い回答となった。ただし、肯定的回答が100%である質問項目数は生徒回答より多い。説明会のわかりやすさ・情報公開・この学校で学ぶことがよかったの項目が100%であることは、近年の校務改善の成果であると考えられる。

- ・カウンセリングマインドを持って生徒対応を行い、生徒が安心して登校できる学校づくりをされていることは、教職員が研鑽に努めておられる成果の一つであると思う。
- ・京都校の移転・開校など、負担の大きい状況においても、様々な生徒のニーズを踏まえた学校運営が行われている。ICT 機器の充実等、時代の要請に応え、通信制高校における競争力を担保していけるよう、一層のご尽力を期待する。

※ 各項目の詳細については、別添資料「V『令和5年度 長尾谷高等学校学校関係者評価委員会』の意見」を参照。

3 令和5年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学校運営	(1) 教育課程			
	教育課程内容の検証	ア学習指導要領の対応状況	学習指導要領と教育課程・授業内容との一致	教育課程は学習指導要領の趣旨内容に的確に対応している
	(2) 教育計画			
	教育計画の充実	教育計画の作成と内容の精選	各教科とも教育計画内容の精選を実施	年間を見通した教育計画を立案し、授業の充実に努めている
	(3) 情報共有と連携			
	ア 教員間の連携	教員間教科間の相互理解に基づく教育活動	相互理解と信頼関係の構築	緊密な連絡で相互理解に努め、共通意識をもって取り組んでいる
	イ 教員と事務職員間の連携	両者の間での情報共有の機会を増加させる。	相互理解と信頼関係の構築	教員と事務職員間の情報交換の機会を増加し相互理解連携を図っている
	(4) 情報公開			
	ア 学校ホームページの充実	学校ホームページの情報内容の精選と充実	公開情報を日常的にチェックし更新する	掲載する情報量や更新スピードについては、なお改善の余地がある
	イ 学校説明会の充実	説明内容の充実と開催の回数を最低10%増加する。	説明内容を精選し必要な情報を常に検証する	学校見学・説明会の充実のために、学校全体で取り組んでいる
(5) 危機管理				
危機管理マニュアル	役割の明確化と諸機関との連携	訓練内容の精選と充実	周知徹底や各種訓練の充実については、なお改善の余地がある	
2 教育内容・教育の課題	(1) 情報教育			
	情報能力育成、情報モラル指導	I C T活用能力育成と情報発信モラルの教育に取り組む	授業を含め様々な機会をとらえて指導する	情報リテラシーや情報発信モラルの育成については、全教職員で取り組む必要がある
	(2) 教育体制及び重点目標			
	ア 人間性を培う教育の充実	知性と感性の調和のとれた人間性を育む教育の実践	面接指導の充実が図られている	対面指導（面接指導）を通じて、生徒と向き合う粘り強い指導が展開されている
イ 国際教育の充実	国際的視野に立った判断力・言動力の醸成	他者の人権尊重と価値観の多様性への理解	コロナ禍や国際情勢の流動化の中でも、セブ島への語学研修を実施し、国際教育の充実に努めている	
(3) 特別活動・部活動				
特別活動・部活動の充実	特別活動の実施内容と部活動指導の充実・活性化	特別活動の参加者数を10%増加させる	特別活度は多種多彩に開催実施しており、部活動においても複数の部において優れた実績が残せた	

3 生徒指導・支援	(1) 生徒支援 (学習指導・進路指導)			
	ア 学習指導・進路指導の充実	生徒の実態に即した学習指導と進路指導の促進	生徒の実態を表面に現れた事象だけでなくその背景まで考慮しているか	個別相談等で一人ひとりの実態を見極めつつ、生徒の要望に即した指導の実践に努めている
	(2) 生徒指導・校内巡回の実施			
	生徒指導体制の確立	指導方針の共通理解と丁寧な生徒観察の実施	共通認識に基づいた組織的対応と生徒への積極的な声掛けの実践で問題行動数を10%減少させる	教職員間の共通認識のもと、カウンセリングマインドを持って、生徒とのより良いコミュニケーションが図られている。問題行動数は減少傾向にある
4 教職員研修・資質向上	(1) 自己研修・資質向上			
	研修体制の充実	自らの資質向上に努める	自らの資質向上に務めているか	教員の資質向上については研修参加等、各自向上心をもって進めている 人権教育の進化充実については、なお改善の余地がある
	(2) OJT			
	OJTの効果的な活用	教職員間での業務遂行の際の良好な連携・協力体制の構築	業務遂行について今教職員相互に関心を持ち、経験者による適宜・適切な助言ができていますか	管理職、及び経験豊富な者からの適宜・適切な指導・助言の実践が行われており、教職員全体の資質向上につながっている

4 【自己評価アンケートを踏まえた 令和6年度の改善点】

(1) ICT活用能力や情報発信モラルの育成

情報通信技術の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の全国的流行等をきっかけとして、ICT機器を用いた教育は一層重要性を増している。また、生徒や保護者のスマートフォン等への依存は、一層その程度を増している。このような中であっては、教職員一人ひとりが、ICT機器に関するスキルの更なる向上に努めるとともに、通信制の特色や本校生徒の実態に即した授業内容の工夫・改善やモラル指導の充実を着実に進めていくことが何よりも重要である。また、総合企画検討会議やGIGAスクール検討委員会において、情報教育の充実について全校的な視野から研究・検討を進めるとともに、東洋学園全体の校務運営・情報管理システムそのものについても、学園本部との連携のもとで改善・充実に向けた取り組みを進めることが急務である。

(2) 国際的視野に立った思考力・判断力の育成

国際情勢の緊迫化・流動化・複雑化を受けて、国際的視野に立った思考力・判断力の育成が一層重要性を増している。Eクラスの海外語学研修（フィリピン・セブ島やマレーシア・クアラルンプール）や海外語学スクーリング（カナダ・バンクーバー等）の充実と努めるとともに、生徒・教職員のいずれもが様々な機会をとらえて国際的知見を深めるよう努力しなければならない。

Ⅱ 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート概要

2023（令和5）年度の学校法人東洋学園長尾谷高等学校の教育活動について、関係教職員、生徒、保護者による自己評価を実施した。

教職員用

- ・アンケート内容

学校法人東洋学園の中期・長期経営目標や長尾谷高等学校の教育目標等をふまえ、質問項目は20問とした。なお、質問数や内容は、昨年度までと同じである。

- ・アンケート対象者

常勤教員全員の60名、事務職員のうち専任かつ事務主任以上の2名の合計62名を対象とした。

- ・アンケート回答方法

各質問について、「A：よくあてはまる」、「B：ややあてはまる」、「C：あまりあてはまらない」、「D：まったくあてはまらない」の4つの選択肢の中から、あてはまるものを回答する方法とした。

生徒・保護者用

- ・アンケート内容

長尾谷高等学校の教育目標等をふまえ、質問項目は教職員用を参考に18問とした。なお、生徒・保護者向けのアンケートは今回が初実施である。

- ・アンケート対象者

枚方本校のスタートクラスに在籍する生徒・保護者の各23名を対象とした。

- ・アンケート回答方法

各質問について、「A：よくあてはまる」、「B：ややあてはまる」、「C：あまりあてはまらない」、「D：まったくあてはまらない」の4つの選択肢の中から、あてはまるものを回答する方法とした。

【令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価 アンケート用紙 (教職員用)】

所属校()名前()

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	番号	設 問	評価
学校運営	教育課程	学習指導要領への対応	1	学習指導要領・教育課程と授業内容は一致していますか	
		教育計画について	2	年間を通じた教育計画を精選し、充実させていますか	
	連携	教員間連携	3	教員間、教科間の相互理解に基づく教育活動が行えていますか	
		教員と事務職員との連携	4	各分校分室内で教員と事務職員との相互理解が構築されていますか	
	情報公開	学校HPの充実	5	学校HPなど公開する情報は日常的に点検、更新されていますか	
		学校説明会の充実	6	説明内容は精選し、必要な情報を常に検証していますか	
	危機管理	危機管理マニュアル	7	役割の明確化、諸機関との連携、訓練内容の精選と充実はなされていますか	
教育内容	情報教育	情報教育の充実	8	ICT活用能力の育成と情報発信モラルの教育に取り組み、これらを授業を含め様々な機会をとらえて指導していますか	
	教育体制	人間性を培う教育の充実	9	生徒指導において人間性を培う教育の充実が図られていますか	
			10	生徒が興味関心を持てるような面接指導(授業)の充実が図られていますか	
		国際教育の充実	11	国際的視野に立った思考力・判断力の醸成の機会を設けていますか	
	特別活動・部活動	充実と活性化	12	特別活動の実施内容は充実していますか	
			13	部活動の活性化を図るため、指導体制は整備されていますか	
	生徒支援指導	生徒指導体制の確立	学習指導、進路指導の充実	14	生徒の実態に即した学習指導・進路指導が行われていますか
指導方針の共通理解と丁寧な生徒観察			15	生徒指導方針の共通理解とそれに即した丁寧な指導が行われていますか	
生徒支援		支援を必要とする生徒	16	特別な支援を必要とする生徒について、各校で把握し全体で取り組んでいますか	
教職員質向上修	研修体制の充実	研修体制の充実	17	教職員研修の実施及び研修の成果は共有されていますか	
		人権教育の充実	18	学校生活のあらゆる機会をとらえて人権教育についての指導が行えていますか	
	資質向上	業務遂行の際の連携協力	19	業務遂行について管理職、経験豊富な先輩からの適宜・適切な助言などはもらえていますか	
			20	指導力向上のため、自己研鑽に努めていますか	

【令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価 アンケート用紙 〈生徒用〉】

より良い学校づくりのためのアンケートにご協力をお願いします。

アンケートの回答は、成績などに関係するものではありません。

次の各質問について、A～Dのうちあてはまる欄に○印をつけてください。

A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:そう思わない

番号	設 問	評 価			
		A	B	C	D
1	学校生活は楽しい。				
2	学校は落ち着いて学習できる環境である。				
3	学校の授業はわかりやすい。				
4	先生は授業やレポートのわからない点を丁寧に教えてくれる。				
5	相談や質問など、先生に話しやすい。				
6	先生は学習で努力したことを認めてくれる。				
7	長尾谷への入学前の説明会はわかりやすかった。				
8	学校のホームページやNCCなど、必要な情報はたえず更新されている。				
9	学校は施設・設備について、日々整理・点検を行い学習環境の改善に努めている。				
10	学校は事件・地震・火災などに備えて、避難訓練などを実施し、生徒の安全に注意をはらっている。				
11	国際社会について学んだり、海外の文化について考えたりする機会がある。				
12	命の大切さや人権について学ぶ機会がある。				
13	パソコンなどのICT機器活用能力やSNSなどの使い方(情報発信モラル)について学ぶ機会がある。				
14	特別活動の内容が充実している。				
15	部活動は盛んである。				
16	学校は特別な支援・配慮が必要な生徒に、丁寧に対応している。				
17	学校は生徒のプライバシーを守っている。				
18	この学校で学ぶことができて良かった。				

【令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価 アンケート用紙 〈保護者用〉】

学校教育目標にもとづく教育活動や学校運営の状況等について評価・改善を行い、教育の質を高めることを目的とした学校評価を実施致します。本校の学校教育の一層の充実の改善のため、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

次の各質問について、A～Dのうちあてはまる欄に○印をつけてください。

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

番号	設 問	評価			
		A	B	C	D
1	お子さんは、学校生活が楽しそうである。				
2	お子さんにとって、学校は落ち着いて学習できる環境である。				
3	お子さんは、学校の授業はわかりやすいと言っている。				
4	教員は、生徒を理解し、親身になって指導している。				
5	教員は、生徒の評価を適切・公平に行っている。				
6	学校は、保護者の相談に適切に応じている。				
7	長尾谷への入学前の説明会はわかりやすかった。				
8	学校のホームページやNCCなど、必要な情報はたえず更新されている。				
9	学校は施設・設備について、日々整理・点検を行い学習環境の改善に努めている。				
10	学校は事件・地震・火災などに備えて、避難訓練などを実施し、生徒の安全に注意をはらっている。				
11	学校は、国際社会や海外の文化についての学びの時間を設けている。				
12	学校は、命の大切さや人権についての学びの時間を設けている。				
13	学校は、ICT活用能力や情報発信モラルについての学びの時間を設けている。				
14	特別活動の内容が充実している。				
15	部活動は盛んである。				
16	学校は特別な支援・配慮が必要な生徒に、丁寧に対応している。				
17	学校は生徒のプライバシーを守っている。				
18	この学校で学ぶことができて良かった。				

Ⅲ 令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート総括

2023（令和5）年度の学校法人東洋学園長尾谷高等学校の教育活動に係る関係教職員、生徒、保護者による自己評価の集計および分析結果について報告する。

教職員アンケートの集計および分析結果

全回答結果を肯定的評価（AとB）と否定的評価（CとD）に分けて分析した場合、肯定的評価は96.2%であり、昨年度の回答より0.6ポイント下降したものの、教職員は、本校の教育内容全般にわたって概ね高い自己評価をしているといえる。

以下は、肯定的評価の割合に応じて、個別の質問項目について分析を進める。

【肯定的評価が100%】

全20問中、①「学習指導要領への対応」、②「年間を通じた教育計画」、④「教員と事務職員との連携」、⑥「学校説明会の充実」、⑫「特別活動の充実」、⑲「業務遂行の際の連携協力」の6項目が該当する。

令和4年度から年次進行で適用が進められている学習指導要領をふまえ、年間を見通した学習指導が全校・全教科・全科目で展開されていることがわかる。

特に、生徒獲得や志願者数増加にむけた生命線である学校説明会の充実については、総合企画室や学園本部広報部を中心にわかりやすいパンフレット・学校案内・募集要項を作成するとともに、各項での学校説明会の充実、外部会場での相談会、中学校・高等学校訪問等の広報活動に全教職員が積極的に参画した。その結果、令和5年度は前年度に比べて約190名の在籍生徒増加につながったことは特筆すべきことである。

【肯定的評価が95%以上かつ100%未満】

全20問中、③「教員間の連携」、⑤「学校HPの充実」、⑦「危機管理の徹底」、⑨「人間性を培う教育の充実」、⑩「面接指導（授業）の充実」、⑬「部活動の活性化」、⑭「学習指導、進路指導の充実」、⑯「生徒支援」、⑳「自己研鑽」の9項目が該当する。

さまざまな課題を抱える生徒が多く在籍する中で、全教職員が指導方針を共通理解し、基本的人権を尊重しながら丁寧にカウンセリングマインドをもって生徒に対応していることがわかる。全教職員の緊密な報告・連絡・相談体制の下で、生徒一人ひとりに寄り添った指導が展開されていることも本校の大きな特色であることがわかる。

また、教職員としての資質を高めるために、しっかり自己研鑽に努めている姿勢も見取れる。

【肯定的評価が90%以上かつ95%未満】

全20問中、⑪「国際教育の充実」、⑮「指導方針の共通理解と丁寧な生徒観察」、⑰「教職員研修の充実」、⑱「人権教育の充実」の4項目が該当する。

通信制高等学校は生徒の登校日が限定的かつ個人により異なるため、指導を充実させるのが難しい側面があるが、多くの教職員は積極的に工夫・改善に努めていることがわかる。

また、国際教育、教職員研修、人権教育等の校務運営体制の整備にも学校全体をあげて取り組んでいることが見て取れる。

【肯定的評価が80%以上かつ90%未満】

全20問中、⑧「情報教育の充実」の1項目が該当する。この項目については、更なる充実が必要であると感じた教職員が一定数存在する結果となった。

情報通信技術の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の全国的流行等をきっかけとして、ICT機器を用いた教育は一層重要性を増している。また、生徒や保護者のスマートフォン等への依存は、一層その程度を増している。このような中にあるのは、教職員一人ひとりが、ICT機器に関するスキルの更なる向上に努めるとともに、通信制の特色や本校生徒の実態に即した授業内容の工夫・改善やモラル指導の充実を着実に進めていくことが何よりも重要である。

また、総合企画検討会議やGIGAスクール検討委員会において、情報教育の充実について全校的な視野から研究・検討を進めるとともに、東洋学園全体の校務運営・情報管理システムそのものについても、学園本部との連携のもとで改善・充実に向けた取り組みを進めることが急務である。

生徒アンケートの集計および分析結果

全回答結果を肯定的評価（AとB）と否定的評価（CとD）に分けて分析した場合、肯定的評価は90.7%、否定的評価は9.3%であった。当該アンケートは、今回が初実施であり、対象者も枚方本校のスタートクラスに限定したものであるが、生徒の意見を直に聴取した結果は貴重である。生徒は、本校の教育内容全般にわたって概ね高い自己評価をしているといえる。

以下は、肯定的評価の割合に応じて、個別の質問項目について分析を進める。

【肯定的評価が100%】

全18問中、⑭と⑰の2項目が該当する。

生徒は、本校の特別活動については、実施回数の多さや内容の多彩さについて極めて高い評価をしていることがわかる。また、生徒と教職員の間には良好な信頼関係が構築され、生徒は、学校に対して高い信頼を寄せていることがわかる。

【肯定的評価が90%以上かつ100%未満】

全18問中、①、②、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑫、⑯、⑱の11項目が該当する。

生徒は、入学前の学校説明会、入学後の学習指導・生徒指導・進路指導等については、概ね満足すべきと回答しており、学校側からのホームページや専用アプリを用いた情報提供についても、高く評価をしている。このことから、多くの生徒が、本校で充実した学校生活を送っていることがうかがえる。

【肯定的評価が80%以上かつ90%未満】

全18問中、③、⑩、⑪、⑬、⑮の5項目が該当する。

本校の生徒は、学習面で不安を持つ割合が高く、教職員の丁寧な学習指導を一層充実させる必要があると考えられる。また、安全教育や危機管理、国際理解教育、情報発信モラル、部活動については、一層の充実が必要と考えている生徒が一定数存在することから、本校教育の深化充実に向けた教職員の一層の努力が必要であることがわかる。

保護者アンケートの集計および分析結果

全回答結果を肯定的評価（AとB）と否定的評価（CとD）に分けて分析した場合、肯定的評価は86.0%、否定的評価は14.0%であった。当該アンケートは、今回が初実施であり、対象者も枚方本校のスタートクラスに限定したものであるが、保護者の意見を直に聴取した結果は貴重である。保護者は、本校の教育内容全般にわたって概ね肯定的な自己評価をしているといえる。

以下は、肯定的評価の割合に応じて、個別の質問項目について分析を進める。

【肯定的評価が100%】

全18問中、①、⑦、⑧、⑰、⑱の5項目が該当する。

保護者は、生徒と教職員の信頼関係の構築、学校からの情報提供等については、極めて高い評価をしていることがわかる。このことから、保護者として、多くの生徒が満足して学校生活を続けていると評価していることがうかがえる。

【肯定的評価が90%以上かつ100%未満】

全18問中、②、④、⑤、⑥、⑭、⑮の6項目が該当する。

保護者は、学習指導・生徒指導・進路指導等に係る教職員の指導ぶりについては、概ね満足していることがわかる。また、特別活動や部活動についても、高い評価を寄せていることがうかがえる。

【肯定的評価が80%以上かつ90%未満】

全18問中、⑨、⑬、⑯の3項目が該当する。

保護者は、本校の施設・設備、情報モラルに関する指導、生徒ひとりひとりに応じたきめ細やかな指導については、やや課題があると考えていることがうかがえる。このことから、各チューターと生徒・保護者のより緊密な連携を充実させ、本校に対する信頼をなお一層高める努力が必要とされる必要があると考えられる。

【肯定的評価が80%未満】

全18問中、③、⑩、⑪、⑫の4項目が該当する。

本校の生徒は学習面で不安を持つ割合が高く、教職員の丁寧な学習指導を一層充実させる必要があると考えられる。また、安全教育や危機管理、国際理解教育、人権教育については、一層の充実が必要と考えている保護者が一定数存在することから、本校教育の深化充実に向けた教職員の一層の努力が必要であることがわかる。

全体を通して

ア 京都校は、2023（令和5）年9月に京都市伏見区の新校舎に移転・開校した。移転にあたっては、夏の酷暑の時期ではあったが、京都校の教職員を中心に、多くの教職員が一致協力して作業を完遂することができた。

イ 新型コロナウイルス感染症は、2023（令和5）年5月に感染症法上の5類相当に移行となり、学校教育活動の制限が撤廃されたが、日常における基本的な感染対策については、それ以降も学校全体で丁寧に取り組んできた。今後も警戒を緩めることなく情報収集に努め、引き続き適切な対応に努めたい。

- ウ 学習指導面では、新学習指導要領の適用2年目となり、「生きて働く知識・技能の習得」、「未来の予知にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」の学力の3観点の伸長に向けて、全教職員が目線を合わせて教育活動を推進してきた。一方で、ICT機器の充実等の時代の進展に対応した教育環境の整備は、本校にとっての喫緊の課題であることを指摘しておきたい。
- エ 2023（令和5）年度も、新入学と転入学の志願者数が大きく増加した。教員と事務職員のいずれも、事務量の増大に苦勞したが、全教職員が協力しあいながら対応を進めてきた。
- オ 通信制高等学校に高い関心が寄せられる中で、通信教育の質の確保や教育内容の向上が重要な課題となっていることから、校内では、文部科学省の「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」をはじめとする関係法令や規則などに関する教職員研修を実施し、学校運営体制の改善・充実にに向けた取組みを進めた。

令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート結果 〈教職員分〉

質問	A	B	C	D	分析結果
1	69%	31%	0%	0%	2022(令和4)年度より、高等学校の新学習指導要領が年次進行で適用中であるが、本校では、これに的確に対応した教育課程を編成して授業が行われている。
2	68%	32%	0%	0%	各教員が年間を見通した教育計画を立案し、授業の充実に努めていることがわかる。
3	66%	31%	3%	0%	各分校・分室内でも、本校全体でも、教員同士が緊密なコミュニケーションや連絡を取り合いつつ、相互理解に努め、共通意識をもって教育活動を展開していることがわかる。
4	76%	24%	0%	0%	教員と事務職員間同士が緊密なコミュニケーションや連絡を取り合いつつ、相互理解に努め、共通意識をもって教育活動を展開していることがわかる。
5	53%	42%	5%	0%	学校HPは逐次更新されているが、掲載する情報量や更新のスピードについては、もう少し改善の余地がある。
6	81%	19%	0%	0%	中学生や高校生およびその保護者に対して、各回の学校説明会において適切な情報が提供されていることがわかる。
7	48%	47%	5%	0%	「危機管理マニュアル」に関して、各教職員への周知徹底や各種訓練の充実にについては、もう少し改善の余地がある。
8	34%	47%	19%	0%	ICT活用能力や情報発信モラルの育成については、教科「情報」の授業だけでなく、すべての教科やあらゆる教育活動を通じて全教職員が一致しての一層の充実が必要である。
9	50%	47%	3%	0%	様々な課題を持つ生徒に対して、生徒自身が自分や周囲の人々を大切にすることを高めることができるよう、一層の粘り強い指導が必要である。
10	58%	40%	2%	0%	学習習慣や学力に課題を持つ生徒が多く在籍する中で、生徒に発問しながらの双方型授業やアクティブラーニングの実施が難しい現状に多くの教員が苦勞している。
11	27%	65%	8%	0%	Eクラスのフィリピン・セブ島への語学研修や、カナダ・バンクーバーでの語学研修など充実したプログラムが展開されているが、一層の充実が求められている。
12	87%	13%	0%	0%	本校では、多彩な特別活動プログラムが提供されている。教職員が一致協力して、一層の進化充実に向けて取り組んでいることがわかる。
13	55%	40%	5%	0%	通信制独特の学習・登校形態や5校分散など部活動展開に関する課題はあるもの、運動部・文化部ともに熱心な活動が続いている。
14	72%	26%	2%	0%	進路指導については、大学・短期大学や専門学校への進学や企業就職の両面で、生徒の実態や要望に即した丁寧な指導が行われていることがうかがえる。
15	71%	23%	6%	0%	様々な経緯を経て入学した生徒に対して、教職員がカウンセリングマインドを持ち、生徒一人ひとりに寄り添いながら丁寧な指導が行われていることがうかがえる。
16	60%	38%	2%	0%	各分校・分室の特別支援コーディネーターを中心に、各校で支援を要する生徒の情報を集約し、共通理解が図られている。
17	49%	45%	6%	0%	教職員研修については、新任教員、中堅教員、事務職員を対象とする研修のほか、各教科の授業研究会や実技研修会が定期的に開催されている。
18	42%	50%	8%	0%	人権教育主担を中心に、あらゆる場面を通じて教職員全体で取り組んでいるが、今後一層の深化充実に向けた工夫が必要である。
19	73%	27%	0%	0%	各分校・分室の管理職や中核となる教職員が中心となり、風通しの良い職場環境や報告・連絡・相談体制を構築し、良好なチームワークの下で学校運営が展開されていることがわかる。
20	61%	37%	2%	0%	各教員は自身の指導力向上に向けて自己研鑽が必須であることは十分に理解していると思われるが、一層の充実に向けて更なる努力を期待したい。

令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート結果 〈生徒分〉

質問	A	B	C	D	分析結果
1	71%	24%	5%	0%	多くの生徒が学校生活にうまく適応していると思われる
2	57%	38%	5%	0%	校内の学習環境は概ね落ち着いていると思われる
3	43%	42%	10%	5%	学業面に課題を持つ生徒は多いが、前向きに努力を続けていることがうかがえる
4	66%	24%	10%	0%	教員の指導ぶりは、概ね生徒に好感をもって受けとめられている
5	47%	43%	10%	0%	生徒と教員の信頼関係は概ね良好であると思われるが、一層の改善の余地はあるとうかがえる
6	57%	33%	10%	0%	登校指導やレポート添削について、教員が丁寧に生徒に向き合っていることがうかがえる
7	52%	38%	10%	0%	通信制高等学校独特の教育システムや学校生活の説明については、より丁寧に実施して、参加者の十分な満足を得られるよう取り組む必要がある
8	52%	43%	5%	0%	学校ホームページの更新頻度については、更なる改善が必要であるとともに、学校情報発信サイト「長尾谷サイバーキャンパス」の一層の利用促進に向けた取り組みが必要である
9	33%	62%	5%	0%	校内の施設・設備については、多くの生徒がやや課題があると考えていることがうかがわれ、一層の充実・改善に向けた取り組みが求められる
10	29%	47%	19%	5%	避難訓練や危機管理に関する啓発など、生徒の安全・安心につながる取り組みの一層の充実が求められている
11	24%	57%	14%	5%	国際情勢の緊迫化・流動化を受けて、生徒が国際的視野に立った思考力・判断力を高めることができるような取り組みの充実が必要である
12	52%	38%	10%	0%	生徒が自他の命や安全を大切にしながら、豊かな人権感覚を身に付けることができるよう、一層の取り組みの充実が求められる
13	38%	43%	14%	5%	生徒はスマートフォン等に依存している傾向が強いが、ICT機器活用能力や情報発信モラルの向上に向けた取り組みは一層の充実が必要である
14	81%	19%	0%	0%	本校の特別活動については、多くの生徒が高い評価をしている
15	24%	62%	14%	0%	多くの運動部・文化部が活動しているが、活動場所や活動内容については、多くの改善の余地があると考えられる
16	48%	47%	5%	0%	教職員は、各生徒の状況を丁寧かつ細やかに把握して、生徒・保護者に寄り添いながら対応していることがうかがえる
17	76%	24%	0%	0%	教職員は、生徒の個別の事情や状況を細やかに把握して、生徒・保護者の人権に配慮しながら丁寧に対応していることがうかがえる
18	71%	24%	5%	0%	多くの生徒が、本校での学校生活を肯定的に受けてめている

令和5年度 長尾谷高等学校 学校評価アンケート結果 〈保護者分〉

質問	A	B	C	D	分析結果
1	65%	35%	0%	0%	生徒が学校生活にうまく適応していると、多くの保護者が評価していることがうかがわれる
2	50%	40%	10%	0%	校内の学習環境は概ね落ち着いていると、多くの保護者が評価していることがうかがわれる
3	20%	55%	25%	0%	学業面に課題を持つ生徒が多いことから、より分かりやすい授業となるよう、教員の学習指導については、一層の工夫と改善が必要である
4	60%	30%	10%	0%	教員の丁寧な指導ぶりは、保護者に概ね好感をもって受けとめられている
5	55%	35%	10%	0%	生徒・保護者と教員の信頼関係は概ね良好であると思われるが、なお一層の改善の余地はあるとかがえる
6	45%	50%	5%	0%	登校指導やレポート添削において、教員が丁寧に生徒に向き合っていることがうかがえる
7	75%	25%	0%	0%	通信制高等学校独特の教育システムや学校生活の説明については、好感をもって受けとめられているが、なお一層の充実が必要である
8	65%	35%	0%	0%	学校情報が確実に保護者に伝わるように、学校ホームページや学校情報発信サイト「長尾谷サイバーキャンパス(NCC)」の一層の充実が必要である
9	25%	60%	15%	0%	校内の施設・設備については、多くの生徒・保護者がやや課題があると考えていることがうかがわれ、一層の充実・改善に向けた取り組みが求められる
10	15%	35%	40%	10%	避難訓練や危機管理に関する啓発など、生徒の安全・安心につながる取り組みの一層の充実が求められている
11	20%	45%	30%	5%	国際情勢の緊迫化・流動化を受けて、生徒が国際的視野に立った思考力・判断力を高めることができるような取り組みの充実が必要である
12	15%	60%	15%	10%	生徒が自他の命や安全を大切にしながら、豊かな人権感覚を身に付けることができるよう、一層の取り組みの充実が求められる
13	20%	65%	10%	5%	生徒はスマートフォン等に依存している傾向が強いが、ICT機器活用能力や情報発信モラルの向上に向けた取り組みは一層の充実が必要である
14	80%	10%	10%	0%	本校の特別活動については、多くの生徒・保護者が高い評価をしている
15	20%	60%	10%	10%	多くの運動部・文化部が活動しているが、活動場所や活動内容については、多くの改善の余地があると考えられる
16	15%	65%	20%	0%	教職員は、各生徒の状況を丁寧かつ細やかに把握して、生徒・保護者に寄り添いながら対応しているが、なお一層の改善の余地があると考えられる
17	60%	40%	0%	0%	教職員は、生徒の個別の事情や状況を細やかに把握して、生徒・保護者の人権に配慮しながら丁寧に対応していることがうかがえる
18	75%	25%	0%	0%	多くの生徒・保護者が、本校での学校生活を肯定的に受けてめている

Ⅳ 令和5年度 長尾谷高等学校 学校関係者評価 概要

(名称) 名称を「長尾谷高等学校学校関係者評価委員会」とする。

(目的) 1 長尾谷高等学校の教育活動の一層の向上に向け、学校と連携しながら取り組む。

2 学校関係者評価を実施し、学校の教育活動を支援する。

3 校長の求めに応じ、学校の運営に関し意見を述べる。

(活動) 1 委員の任期は4月から翌年3月までの1年とする。

2 委員の再任は妨げない。

3 会議は校長が主催する。会議を開催できない場合は、校長が意見等を聴取する。

(事務局) 事務局を長尾谷高等学校枚方本校に置く。

(構成) 令和6年度委員 (敬称略)

森口 愛太郎 (大阪府立千里青雲高等学校長)

大西 忠典 (大阪府立都島工業高等学校長)

端野 克也 (東洋学園高等専修学校副校長)

高島 忠幸 (近畿情報高等専修学校副校長)

岩見 晃宏 (長尾谷高等学校同窓会会長)

Ⅴ 「令和5年度 長尾谷高等学校学校関係者評価委員会」の意見

1 「学校運営」評価

- ・「学校運営」全般について、概ね全教職員が高評価していることから、貴校が全教職員の共通理解のもと組織的に学校運営を行っていることがわかる。
- ・今後も教職員のみなさまが、緊密なコミュニケーションや連携をしっかりとっていただき、共通意識をもって生徒達のために頑張っていただきたいと思います。引き続き、新学習指導要領に的確に対応した授業を行ってください。
- ・全体的に肯定的な評価が高く、教職員の意識が高いことが窺える。5つの分校・分室に分かれている中、意思統一がなされ、協調性を持って教育活動がなされている。
- ・教員同士が連携をとり、教育活動を展開されていることが、教育計画の立案、授業の充実につながっており、生徒の満足度が上がる学校運営をされていることは素晴らしい。
- ・各校で風通しの良い職員関係のもと、共通理解を持って学校運営に当たられていることが窺えます。危機管理マニュアルについては、リスクへの事前の対応が肝要かと思われますので、取り組むべき課題としてご対応いただきたく思います。

2 「教育内容・教育の課題」評価

- ・ほとんどの項目で、概ね高評価となっているが、「ICT活用能力の育成、情報発信モラル教育」について、「あまりあてはまらない」との回答が12%と突出した低評価である。教職員全体へのICTに関する研修を充実させたい。
- ・さまざまな課題のもと生徒達に対し、自分自身はもちろんのこと、自分の周りの人も大切にす意識、思いを高めることができる教育の継続をお願いいたします。
- ・IT活用については、教員のスキル向上が必要であると思います。スクーリングにおいて興味をもち、わかりやすい授業にする研究が必要。プロジェクター等、情報機器の充実で「見せる授業」の展開に期待します。
- ・通信制独特の学習・登校形態がある中で、部活動において優秀な成績を収められていることについては、教員の熱心な取組があつてのことだと思ひます。生徒のやりがいのためにも続けていただきたい。
- ・様々な課題を持つ生徒に対して、粘り強く指導が展開されていることは大変意義のある取組であると思ひます。国際教育、部活動においても、広く機会が提供されている中で、一部生徒が対象となることは致し方ないことであると思ひますが、より一層の充実を図られることを期待しています。

3 「生徒指導・支援」評価

- ・「生徒指導・支援」について、概ね全教職員が「あてはまる」と回答していることから、貴校の生徒指導・支援体制の充実ぶりが窺える。昨今の通信制高校の人気上昇とともに、今後もより支援が必要な生徒が多く入学してくると思われるが、全教職員で一丸となつ

て取り組むことのできる生徒指導・支援体制を構築されたい。

- ・引き続き、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な生徒指導・対応をお願いいたします。
- ・教員が自信を持って生徒に寄り添い、丁寧な指導が行われていることが窺える。特別支援生徒対応も、各校情報の集約、共通理解が図られて指導体制が整っていることが窺える。生徒一人ひとりの成長に期待します。
- ・丁寧な進路指導を行い、生徒の進路が決定する。進路の決まる学校への入学を希望する生徒が多いと思われるので、今後も充実した進路指導を継続してもらいたいです。
- ・通信制高校へのニーズが多様化する中で、教職員がカウンセリングマインドを持って寄り添いながら丁寧に支援されていること、素晴らしく思います。更に、スタートクラスでのスクールカウンセリングの実施など、先進的な取り組みにも一層展開されることを期待しています。

4 「教員研修・資質向上」評価

- ・教職員研修、人権教育について僅かながら「あまりあてはまらない」との回答がある。今後一層の検討改善を期待する。
- ・大変お忙しいとは思いますが、教職員お一人おひとりが研修等において自己研鑽に努めていただき、みなさまで成果等の共有をしていただきたいと思います。
- ・資質向上に向け、教職員の努力は窺える。この事が自信を持った評価につながっていくことに期待します。校務多忙の中で、実施・参加が難しいと思うが、研修制度の活用が望まれる。
- ・人材育成の観点からも、充実した研修を実施されていることは良いことだと考えます。健負の成果を教科指導や生徒指導に生かしていただきたい。
- ・お忙しい状況にも関わらず、研鑽に取り組まれている状況が窺えます。業務遂行の際の連携協力での意識が高いことなど、良好な職員関係も見受けられますので、教職員の資質向上への取組、各校において水平展開への更なる工夫が図られることを期待いたします。

5 「総括」の評価

- ・令和 5 年度も新入学と転入学の志願者数が大きく増加したことに伴い、教員と事務職員のいずれも事務量の増大に苦労したとのこと。「働き方改革」の観点から、教職員の負担が増加することなく対応できる組織体制の構築が必要と思われる。
- ・新入生や転入生が大きく増加するなか、さまざまな取組をされていることがよくわかりました。これからも、生徒達の求める教育を進めていただければと思います。
- ・分析された通り、教育内容全般にわたり、教職員全体の相互理解に基づいた教育活動が行われており、これが自信を持った評価につながっている。通信制高等学校への注目が集まる中、長尾谷高等学校の更なる活躍に期待します。
- ・心に寄り添った指導が必要な生徒が増えていることを感じる。カウンセリングマインドを持って生徒対応をしているとあります。生徒が安心して登校できる学校づくりをされ

ていることは、教職員が研鑽に努めておられる成果の一つであると思います。今後もより良き学校づくりに努めてください。

- ・京都校の移転・開校など、負担の大きい状況においても、様々な生徒のニーズにご対応いただいていることが分かりました。ICT 機器の充実等、時代の要請に応え、通信制高校における競争力を担保していけるよう、ご尽力いただけることを期待します。

6 その他、今後の学校運営についてのご意見

- ・通信制高校の人気に拍車がかかる中で、大阪の他の通信制高校との差別化を図る必要がある。「長尾谷高校」でしか学べない独自性のある戦略的 school 運営を期待する。
- ・今後もさまざまな情報提供をよろしくお願いいたします。
- ・通信制高校への期待は高まっていると思います。引き続き、教職員が共通意識を持って、充実した学校運営を行って行ってください。
- ・アフターコロナでの通信制高校へ期待される役割として、集団生活におけるコミュニケーションや意欲の課題のある生徒の受け入れなど、さらに困難な状況が見込まれます。これらの生徒の受け皿として、教職員が一致団結し、対応力のある学校運営を引き続き進めていただきたいです。